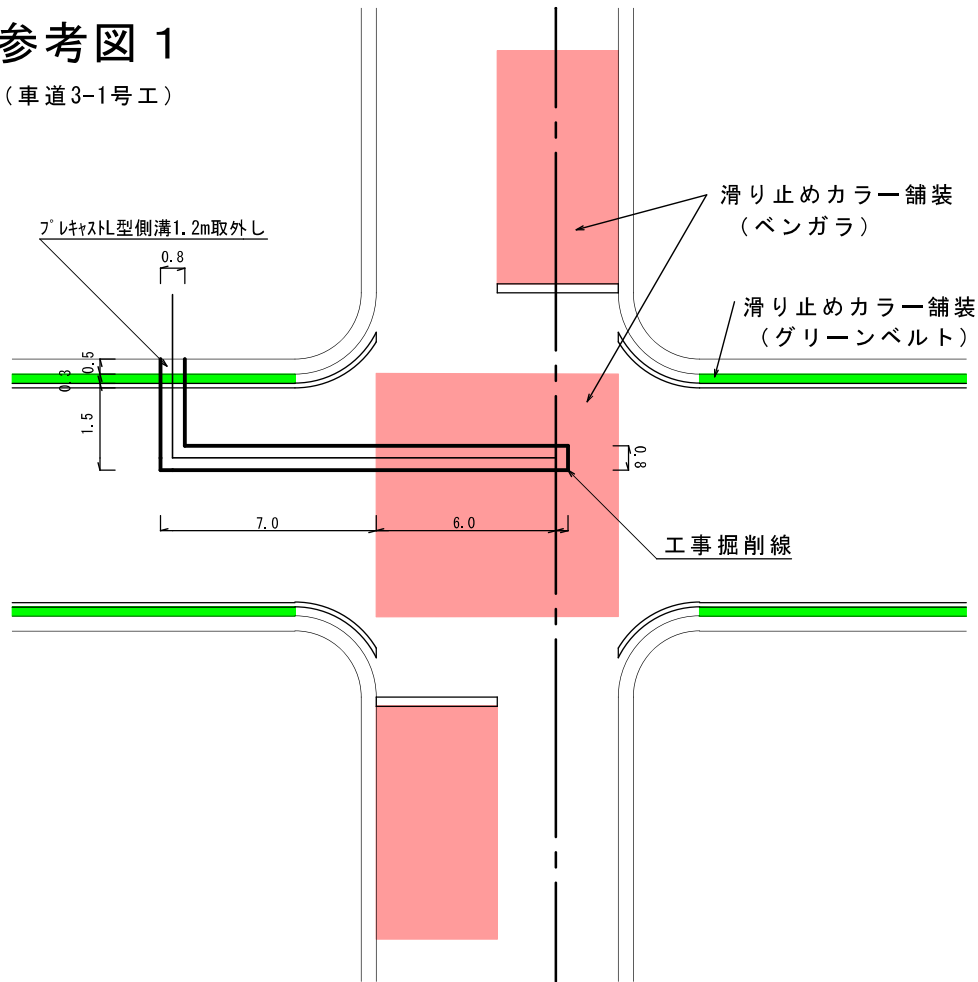


占用掘削数量算定例

参考図 1

(車道3-1号工)



〈数量算定〉

車道3-1号工 $(7.0+6.0+1.5+0.3-0.8) \times 0.8=11.20\text{m}^2$

L型10号工 1.2m

【改正により追加】

18号工 薄層舗装 (交差点等ベンガラ) $6.0 \times 0.8=4.8\text{m}^2$

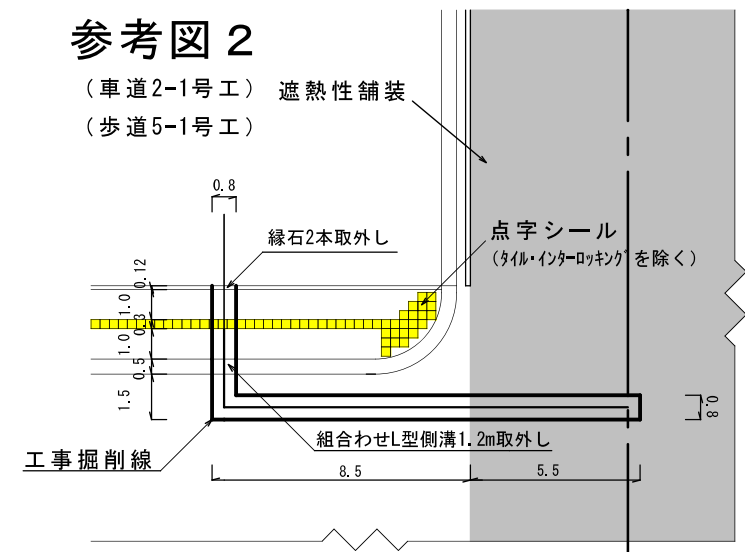
18号工 薄層舗装 (グリーンベルト) $0.3 \times 0.8=0.24\text{m}^2$

18号工 計 $4.8+0.24=5.04\text{m}^2$

参考図 2

(車道2-1号工) 遮熱性舗装

(歩道5-1号工)



〈数量算定〉

車道2-1号工 $(5.5+8.5+1.5-0.8) \times 0.8=11.76\text{m}^2$

歩道5-1号工 $(1.0+0.3+1.0) \times 0.8=1.84\text{m}^2$

L型9号工 1.2m

縁石15号工 1.2m

【改正により追加】

17号工 遮熱性舗装 $5.5 \times 0.8=4.4\text{m}^2$

19号工 点字シール $0.3 \times 0.8=0.24\text{m}^2$

ポイント

- ・それぞれの舗装構成で数字がひろえるように、寸法を記載してください。
- ・道路構造物は面積ではなく延長で計算するため、メートルで記載してください。
- ・滑り止め舗装、グリーンベルト、遮熱性舗装が、施行されている場合図面に図示してください。